

NEWS RELEASE

平成14年3月28日
日立ビジネスソリューション株式会社

Java帳票コンポーネント JXReport バーコード印刷機能をサポート - eコマース、流通系システムへの対応強化 -

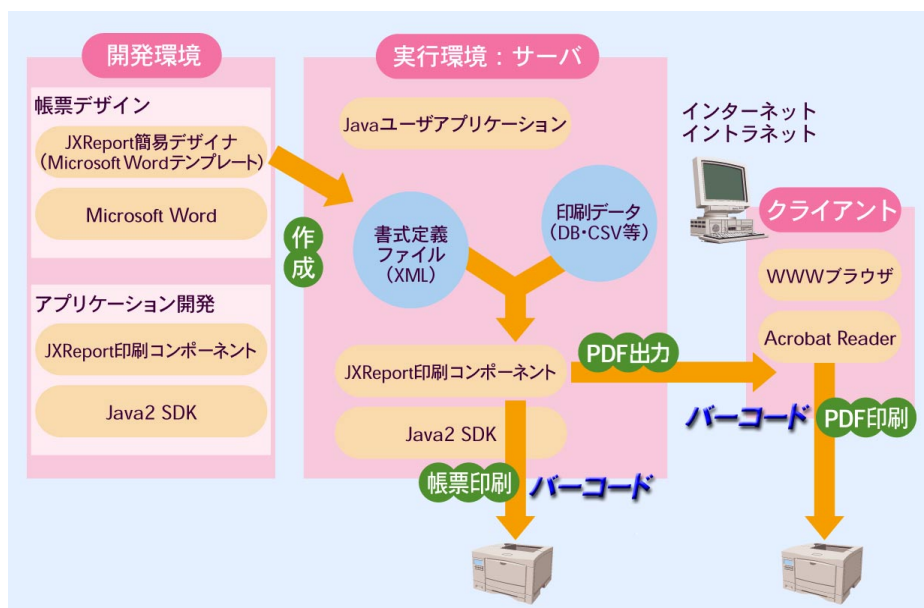
日立ビジネスソリューション株式会社（社長 鴨川 和正、本社 横浜市、資本金 35億6千万円）は、Java（注1）プログラムに組み込むことで簡単に帳票の印刷・プレビュー・PDF（注2）出力機能を実現できるソフトウェアコンポーネント「JXReport」にバーコード印刷機能を追加し、平成14年4月より発売いたします。

バーコードは企業間電子商取引システムや流通系システムにおける各種伝票等に広く利用されていますが、これらのシステムのWebアプリケーション化が急速に進んでいます。新機能である「バーコード印刷機能」によって、Webアプリケーションで作成したバーコード付きの伝票を、リアルタイムで遠隔地のWebクライアントで印刷することを可能としました。

また、より広範囲のアプリケーションに対応するために、帳票デザイン機能の強化によってクロス集計表やサブレポート等の高度なレイアウトの帳票出力を可能とする新製品を平成14年中に出荷する予定です。

注1：JavaおよびJavaに関する商標は、米国Sun Microsystems社の米国およびその他の国における登録商標です。

注2：PDFは、Portable Document Formatの略。米国Adobe Systems社が開発したマルチプラットフォームでの文書閲覧・印刷が可能なファイル形式です。



日立ビジネスソリューション株式会社 システム営業部

〒231-0015 横浜市中区尾上町六丁目90番地

電話 (045) 651-5211 (代表)

FAX (045) 671-0912

URL <http://hitachi-business.com>

1. 新製品の特徴

(1) 各種バーコード形式に対応

JIS規格で規定されている全てのバーコードシンボル (CODE39、Codabar (NW-7)、JAN-13、JAN-8、ITF、CODE128) に対応しました。チェックデジットの自動計算機能により、バーコード出力におけるユーザの負荷を軽減します。

(2) Webクライアントへの高速な配信

本製品では、バーコードシンボルを含むPDF帳票のデータ容量を、独自の生成技術を用いて従来の1/4以下に圧縮し、Webアプリケーションにおけるクライアントへの高速な帳票配信を可能としました。

(3) 出力機器に合わせた細かい設定が可能

解像度の異なる複数のプリンタでバーコードシンボルを印刷すると、プリンタによっては読み取り精度が著しく低下する場合があります。本製品では、バーコードシンボルを生成する際の解像度を、使用するプリンタに合わせて設定可能とし、これを解決しました。

また、解像度以外にもバーの太さ・比率・高さの設定機能を設け、それらを微調整することで、実際の使用環境 (プリンタ・バーコードリーダ) に合わせた出力を行えます。

(4) 既存資産の活用

従来のバージョンで作成した帳票レイアウトに簡単にバーコードを追加することが可能です。

(5) 従来の利点を継承

新バージョンでは従来のバージョンの特徴をそのまま受け継いでいます。

- レポートデザイナーによる簡易で効率的な帳票デザイン
- 印刷コンポーネントによるアプリケーション開発効率の向上
- ダイナミックで表現力豊かな帳票作成を実現
- マルチプラットフォーム対応
- API公開による高い拡張性
- PDF出力によるWebアプリケーション対応

2. 適用業務

Java2アプリケーション、Webアプリケーションでの帳票印刷業務

3. 標準価格・出荷時期

製 品 名	価 格	出 荷 時 期	販 売 目 標
JXReport Server Edition with PDF Ver.1.3	400,000円	H14.4	200本/年
JXReport Developer Edition Ver.1.3	50,000円	H14.4	1000本/年

4. 開発及び販売元

日立ビジネスソリューション株式会社

- 以上 -